

業界動向・業務知識から融資審査・事業性評価のポイントまで すべてがわかる構成内容

構 成		主な記述事項
業種のポイント		● 業種の定義、市場のトレンド、事業性評価の着眼点
I. 業種の理解	1. 業種の特色	● 業種範囲の特定とその根拠、対象製品・サービス ● 業種の沿革・変遷 ● 市場の特性・特徴
	2. 市場規模	● 事業者数・従業員数 ● 生産量・消費量など直近マーケット規模 ● 代表的(規模、知名度)企業
	3. 地域的特徴	● 動向調査をもとに業界における地域分布(売上高・シェア中心に)の紹介・分析
II. 業界の動向	1. 需給動向	● 生産量・出荷量・消費量等の時系列推移 ● 人口減少、高齢化、規制緩和等業種への影響が大きい環境の変化 ● 需給の価格への影響 ● 貿易動向(TPP11、米中貿易戦争の影響等) ● 価格動向(2019年10月消費税引上げ実施時の影響含む) ● 着目すべき経営指標
	2. 海外展開	● 生産拠点、販売拠点、提携
	3. 課題と展望	● 最新トピックス(特別テーマの事象から受ける影響) ● 経営高度化、競合状況、業界動向等課題と展望 ● 業界の将来性
III. 業務内容・特性	[製造業の場合] [卸・小売業の場合] [サービス業の場合]	製品の種類・特性、製造工程主要設備、流通経路 商品の種類・特性、流通経路、販売形態(店舗・その他販売形態) 業務の種類・特性、サービス内容、取引・サービス形態(店舗・サービス提供チャンネル)
IV. 業種分析のポイント	1. 取引形態と条件	● 仕入・在庫、受注～売上げの流れ、生産方法 ● 販売方法、条件 ● 支払・回収条件
	2. 資金需要	● 運転資金、設備資金、決算資金、季節資金などの特徴 ● 資金使途と返済能力 ● 業界特有の担保・返済財源
V. 財務諸表の見方	1. 決算書・財務状況の見方	● 収益性、安全性、成長性など過去3年間の経営指標から読み取れる特徴 ● 営業力・人材面等、計数データ以外の見方 ● 業界上位企業の経営データ(売上高・シェア中心に)の紹介・分析 ● 過去倒産企業からみた考察(追跡データ、倒産兆候の捉え方、財務データの特徴)
	2. キャッシュフロー分析	● 業種による売上総利益キャッシュフローの特徴(収支ズレ)等 ● CF計算書ないしは資金繰り表をみるうえでの業種固有の着眼点
VI. 事業性評価および取引推進上のポイント	1. 経営改善・収益向上のポイント	● 経営者に広く共通する悩み(需要、低収益性、仕入れ条件、販路、人手不足、後継者難、海外ノウハウの欠如……) ● 業種の現在の強み、成長余地 ● 経営改善支援のポイント
	2. 取引推進上のポイント	既取引先の取引深耕 ・ 資金ニーズ ・ 新たな需要創出に必要な観点 新規開拓 ・ (既存新規先の場合) 商流や成長性、アプローチする時期に関する留意点等 ・ (新規開業先の場合) 事業計画、資金計画
	3. 事業承継	● 事業承継計画 ● M&A、承継先紹介
VII. 関連法規制・制度融資等		● 業界特有の許認可・規制、関連法規等 ● 利用しうる金融助成措置・制度融資 ● 税制上の優遇措置および留意点 ● 法律・規制・制度の改正・緩和等の最新動向
VIII. 業界団体		● 業界主要団体名、所在地、電話番号